

## 令和6年度 栃木県養護教育研究会春季研修会開催(473名参加)

期日 令和6年6月25日(火)

会場 栃木県総合文化センター メインホール

### 1 開会

### 2 会長あいさつ

栃木県養護教育研究会会長 大牧 稔

### 3 来賓あいさつ

栃木県教育委員会事務局健康体育課長 角田 正史 様

### 4 研究発表

#### (1) 「自己管理能力を身につけた子供の育成を目指して

～真岡市歯ッピー大作戦!の取組を通して～

発表者 真岡市立真岡西小学校 横松 千怜 先生

真岡市立長田小学校 藤原 真望 先生

#### (2) 「目の健康について ～視力低下防止啓発への取組～」

発表者 高根沢町立北小学校 岩谷 綾子 先生

高根沢町立中央小学校 齋藤 好香 先生

### 5 指導・助言

栃木県教育委員会事務局健康体育課 指導主事 金野 智絵 先生

栃木県総合教育センター 指導主事 永井 千尋 先生

※研究発表内容、指導・助言につきましては、「しろたえ51号」に掲載されます。

### 6 講演 「養護教諭のICT活用

－『令和の日本型学校教育』を担う養護教諭の資質能力の向上のために－

講師 京都女子大学心理共生学部心理共生学科 教授 大川 尚子 先生

生粋の関西人である大川先生、立て板に水のような講演と予想外の機器のトラブルにも「これがICTです!」と受け流す臨機応変さはさすがでした。コロナ禍以降急速に広がったICTの活用を令和の養護教諭はどう活用していくのか。今後の方向性を示唆してくださいました。

◇アフターコロナは、ICTを考えて使う時代になる。デジタルとアナログの使い分けが重要となり、活用が進むことがヘルスリテラシーにもつながっていく。

◇これまでも個別最適な学びを行っていた養護教諭が、それにICTが使えると考え始めた。

◇得意な養護教諭が中心となりデジタルコンテンツを作成し共有することで、業務の効率化が図られるはず!余った時間は子どもたちとの対面に使いましょう。

◇ICTの活用が進む反面、デジタル機器による健康被害には注意が必要となってくる。メディアバランスを整えるためには、保健組織活動が使える。



### 7 内留報告

#### (1) 「養護教諭が行う別室登校児童生徒への支援の一考察

－ICTを活用した心の健康観察の作成と試行－

発表者 茂木町立茂木中学校 永島 紀子 先生

#### (2) 「学童期の保護者支援の在り方

－リエゾンとしての養護教諭の立場から－

発表者 小山市立間々田東小学校 森 裕子 先生



## 令和6年度栃木県養護教育研究会総会

令和5年度事業報告・決算報告、令和6年度事業計画案・予算案が承認され、令和6年度が滞りなくスタートいたしました。

総会後の事務連絡では、8月3日・4日に宇都宮市で開催される「第52回全国性教育研究大会」や、8月20日の「レベルアップ研修会」について説明がありました。貴重なスキルアップの機会ですので、積極的に御参加ください。

🍀 今回の研修当番は、足利地区でした。ご協力いただきありがとうございました。🍀